

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報の発表について（送付）

このことについて、平成 20 年度病害虫発生予察注意報第 1 号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

平成 20 年度病害虫発生予察注意報第 1 号

農作物名 カンキツ類、カキ、ナシ
病害虫名 果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生時期 8 月末から 9 月上旬以降
- 3 発生程度 平年比 多
- 4 注意報発表の根拠
 - (1) 合志市（農研センター）、天草市（天農研）、宇城市三角町の予察灯での果樹カメムシ類誘殺数は、7 月下旬から増加し始め、8 月上旬から中旬にかけて急激に増加した（図 1）。その後やや減少傾向にあるが、依然として平年を大きく上回る頭数が誘殺されており、野外での果樹カメムシ類の生息量は多いと思われる。本年 8 月上中旬の誘殺数を多発年であった平成 14 年と比較すると、合志市では、チャバネアオカメムシが約 2.5 倍、ツヤアオカメムシが約 10 倍、天草市では、チャバネアオカメムシが同程度からやや多く、ツヤアオカメムシが約 10 倍となっている。
 - (2) 今年はツヤアオカメムシが多く誘殺されており、8 月 1～4 半旬の誘殺数は、合志市で 589 頭（平年値 48 頭）、天草市で 8057 頭（平年値 148 頭）となっている。
 - (3) 8 月下旬に採取したヒノキ球果の 1 球果当たり平均口針鞘数は、県内 23 地点の内、最も高かった天草市五和町で 26.5 本、次いで宇城市松橋町で 23.1 本、その他、鹿本、八代、芦北地域で既に 20 本を超えており、果樹園への飛来・加害の危険性が高まっている（図 2、表 1）。

1 球果当たりの口針鞘数が 25 本を超えると、カメムシはヒノキ球果から離脱する。
 - (4) 現在のところ、天草・宇城地域で初期の被害報告があったが、大規模な被害の報告はない。口針鞘数の状況から、果樹園への飛来は、9 月上旬以降になると予測される。
- 5 防除上の注意点
 - (1) この時期のカメムシは、主にヒノキ・スギの球果を餌として成長し、餌がなくなると果樹園に飛来するので、樹園地付近のヒノキ・スギでの発生状況に注意する。
 - (2) カメムシは、局地的に飛来し加害する傾向があり、同一園内でも局在することがあるので、園内をよく見回り早期発見に努める。過去に集中加害のあった場所は、特に

注意する。

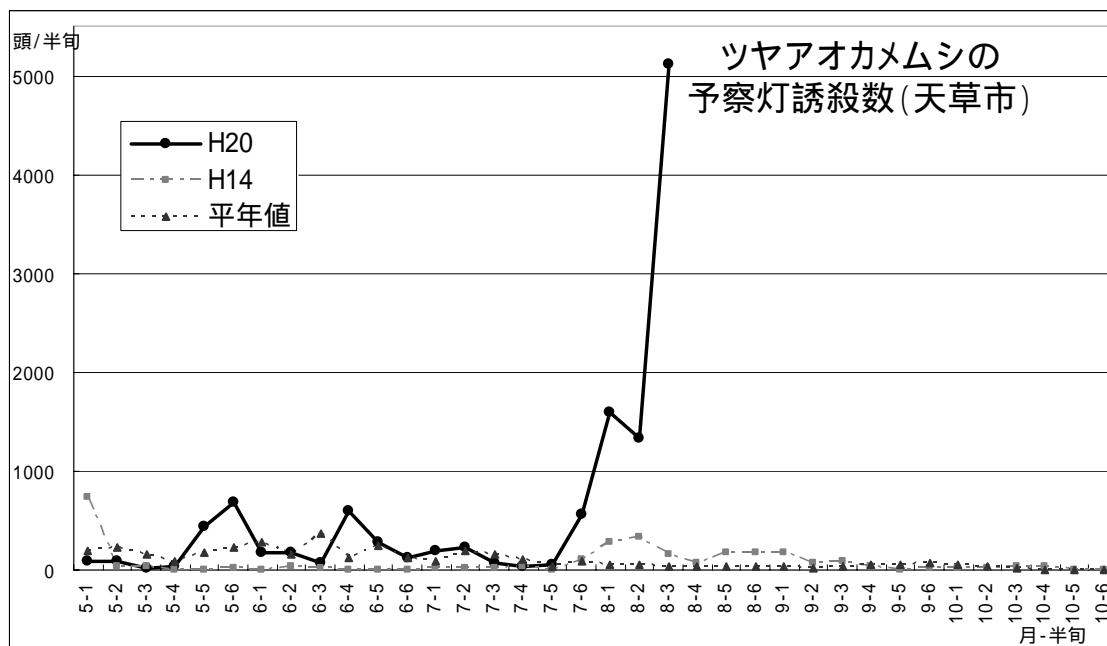
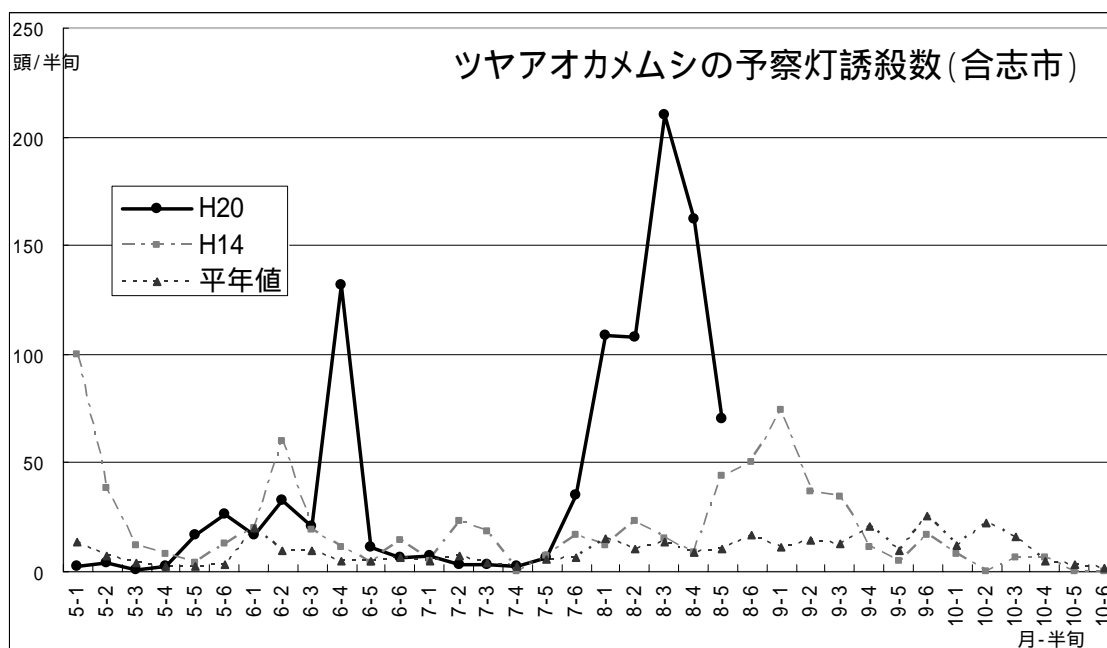
- (3) 果樹園への飛来や被害を確認したら、カメムシ類の活動時間に合わせ、朝か夕方に薬剤を散布する。散布にあたっては、対象作物および対象害虫に登録のあるものを使用し、散布濃度、使用回数、使用時期等についてはラベルの記載を遵守する。
- (4) 薬剤散布によって、他の害虫（ハダニ類、カイガラムシ類など）が増加することがあるので注意する。

6 連絡先

熊本県病害虫防除所 担当 福永、山田

TEL 096-248-6447(内線 459) FAX 096-248-6493

ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/kumamoto>



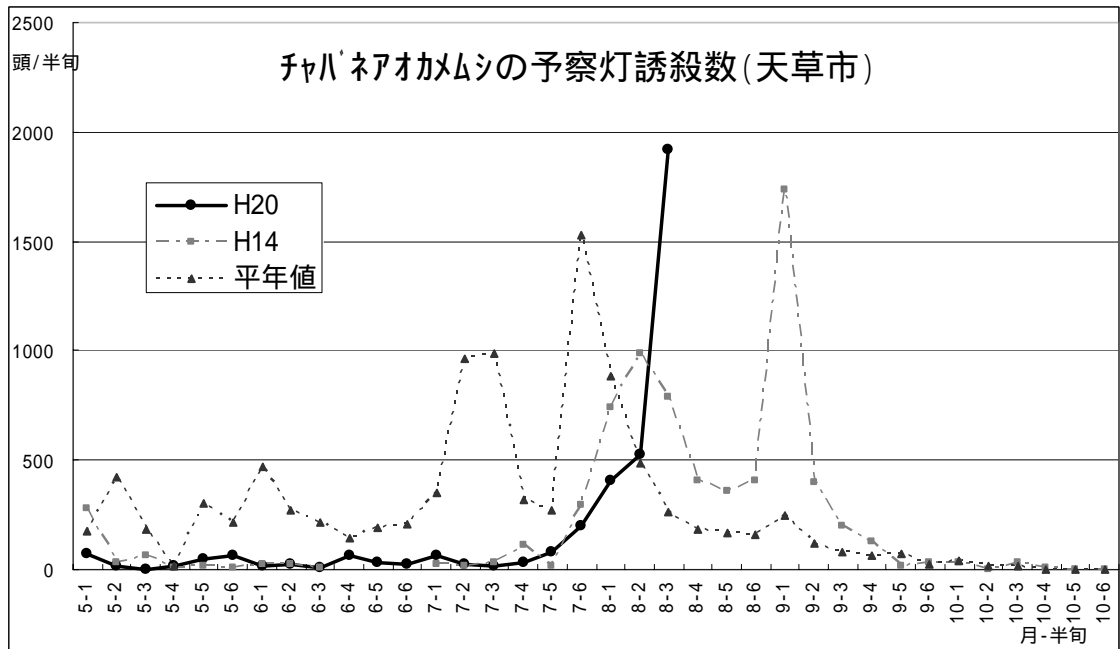
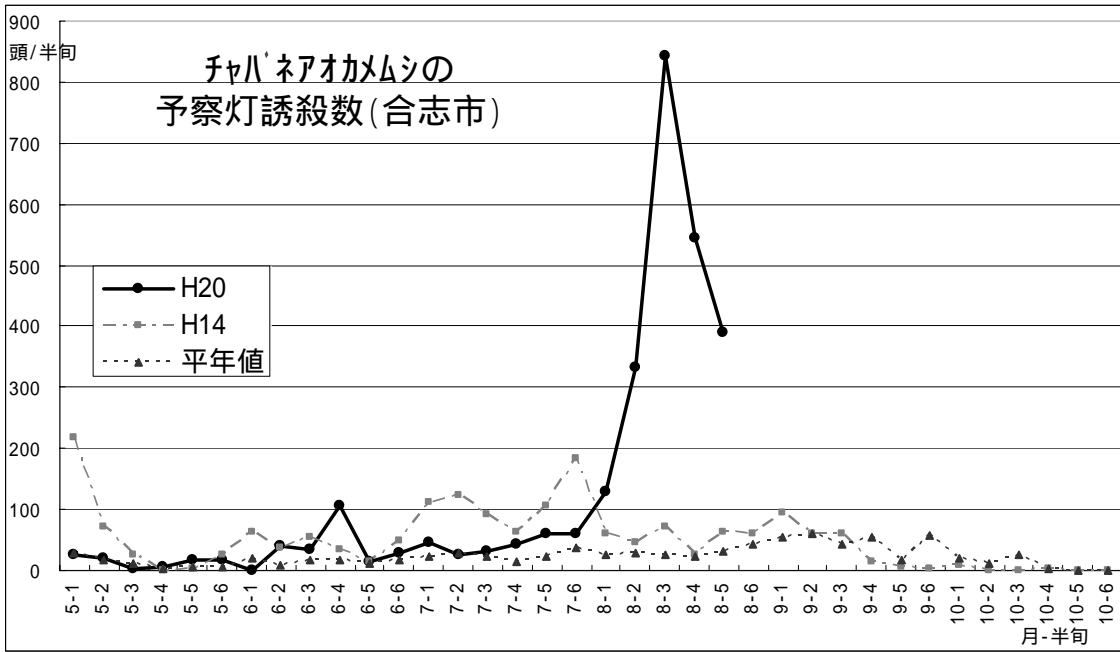


図1. 果樹カメムシ類の予察灯誘殺数の推移

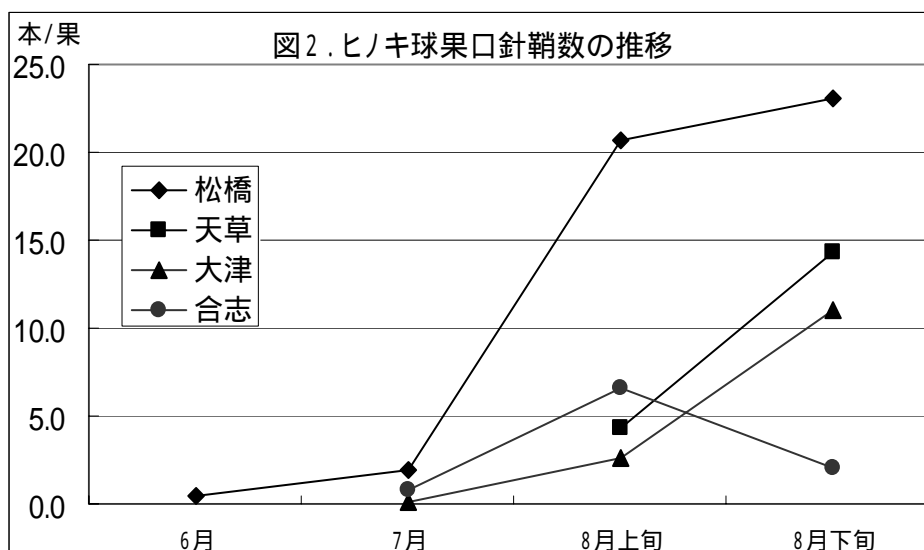


表1. ヒノキ球果における果樹カメムシ類の口針鞘数

地域	採取地	採取日	口針鞘数
玉名地域	玉名市立願寺	8/21	16.6
	玉名市天水町	8/21	13.0
鹿本地域	山鹿市蒲生	8/21	21.9
	植木町吉次	8/21	22.4
菊池地域	菊池市玉祥寺	8/21	18.9
	大津町大津	8/21	11.0
	合志市栄	8/21	2.0
熊本地域	熊本市河内町太田尾	8/21	2.2
	熊本市河内町野出	8/21	14.5
宇城地域	宇城市松橋町松橋	8/21	23.1
	宇城市松橋町豊福	8/18	2.4
	宇城市不知火町永尾	8/22	15.2
	宇城市三角町前越	8/22	15.0
八代地域	八代郡氷川町大野	8/22	22.6
芦北地域	葦北郡芦北町	8/22	17.8
天草地域	天草市本渡町本渡馬場	8/21	14.3
	天草市本渡町十万山	8/21	18.4
	天草市新和町楠原	8/21	15.7
	天草市新和町小峰	8/21	20.0
	天草市宮地岳町	8/21	16.6
	天草市有明町	8/21	5.5
	天草市五和町	8/21	26.5
	天草郡苓北町坂瀬川	8/21	19.3
	天草郡苓北町内田	8/21	13.9

